

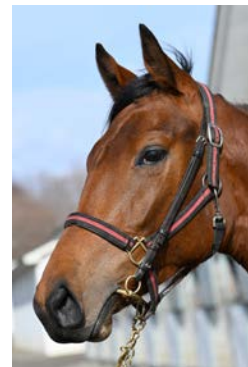


ピュアリーグッド 2024

牝 鹿毛 4/11 生

父 クリソベルル

母 ピュアリーグッド (by ロードカナロア)



厩舎	栗東：四位 洋文
馬価格	1400 万円
消費税	140 万円
総額	1540 万円
1/4	385 万円

父 クリソベルル

デビュー6連勝でジャパンDダービー、チャンピオンCを制し、3歳にして最優秀ダートホースを受賞。4歳時はサウジCは7着も帝王賞、JBCクラシックを連勝。通算11戦8勝、うちGI4勝。初年度産駒は本年3歳。

母系

母は2戦目の阪神ダ1800mで初勝利。祖母は芝で2着2回3着2回と入着を重ねダート転向初戦で勝利。ダ1700-1800mで5勝を挙げた。祖母の全姉ベストクルーズはファンタジーS2着、阪神JF3着など芝で活躍。

クリソベルル Chrysoberyl 鹿 2016		*サンデーサイレンス	Halo
	ゴールドアリュール		Wishing Well
	Gold Allure	*ニキーヤ	Nureyev
			Reluctant Guest
	クリソプリーズ	*エルコンドルパサー	Kingmambo
	Chrysopraxe		*サドラーズギャル
		*キャサリーンパー	Riverman
			Regal Exception
	ロードカナロア	キングカメハメハ	Kingmambo
	Lord Kanaloa		*マンファス
ピュアリーグッド Purely Good 鹿 2017		レディブラッサム	Storm Cat
			*サラトガデュー
	マーチャンテイマー	*クロフネ	*フレンチデピュティ
	Machan Tamer		*ブルーアヴェニュー
		マサコチャン	*サンデーサイレンス
			チヨダマサコ

サンデーサイレンス S3xM4, Kingmambo S4xM4 / F12

母ピュアリーグッドは1勝。本馬は第2仔
 ミクロスギガス (牝 シルバーステート) 3歳
 祖母**マーチャンテイマー**は5勝、釜山S、宮崎特別、ブリーダーズゴールドC-**Jpn3**3着、マリーンC-**Jpn3**5着、ラジオ日本賞-**OP**5着。産駒
 バランスダンサー (牝 エピファネイア) 2勝
 チャチャピンク (牡 リオンディーズ) 1勝、**現**
 曾祖母マサコチャンは不出走。産駒
ベストクルーズ (牝 *クロフネ) 3勝、サロマ湖特別、ファンタジーS-**G3**2着、阪神ジュベナイルF-**G1**3着、京都牝馬S-**G3**3着、白百合S-**OP**3着、フラワーC-**G3**4着。産駒
 シークルーズ (牝 モーリス) 2勝、春菜賞、新馬勝
 レジェンドソウル (牡 ロードカナロア) 1勝
 シックスリングス (牝 エピファネイア) 2着3回、3歳**現**
 サトノロマネ (セ *クロフネ) 2勝、黄梅賞
 エイシンフランキー (牡 *クロフネ) 1勝、新馬勝、障2勝
 ファンドリコンドル (牡 *エルコンドルパサー) 2勝
 四代母チヨダマサコは1勝。産駒
ニッポーテイオー：最優秀古牡馬、最優秀スプリンター (2回)、8勝、天皇賞(秋)-**G1**、安田記念-**G1**、マイルC S-**G1**
タレントイドガール：4勝、エリザベス女王杯-**G1**、桃花賞、漁火特別、オークス-**G1**3着、クイーンS-**G3**3着。産駒
シンコウシングレー：5勝、新馬勝、ニューマーケットC、セントライト記念-**G2**3着、AR共和国杯-**G2**3着
 *エミネントガール：2戦。**ホエールキャブチャ** (ヴィクトリアマイル-**G1**)の祖母
スリドーター：7勝、初富士賞、岩室特別、中山牝馬S-**G3**3着。**ルルパンブルー** (フェアリーS-**G3**)の曾祖母



ピュアリーグッド 2024

牝 鹿毛 4/11 生

父 クリソベリル

母 ピュアリーグッド (by ロードカナロア)



測尺

2025/11/20現在

体高

160cm

胸囲

188cm

管囲

20.5cm

馬体重

484kg

Note

逃ればニッポータイオー、タレントイドガールなどの往年の芝のGI馬がおり、祖母の全姉もファンタジーS2着、阪神ジュベナイルF3着と芝で活躍しましたが、本馬の祖母から先はダートに高い適性を持つ血が受け継がれていっています。

母はダ1800mで勝利、祖母はダ1700-1800mで5勝を挙げ、交流重賞を3着。おばバランスダンサーは芝で2着2回の後、芝1800mで勝ち上がりましたが、2勝目はダ1800mで挙げており、おじの現3歳チャチャピンクもダ1800mで初勝利を挙げています。

本馬は父にダ1800mから2000mで圧倒的な強さをみせたクリソベリルを迎え、狙うは祖母の叶わなかった重賞タイトルです。父の産駒らしいパワー型のフットワークで力のいる馬場も苦しめない推進力を発揮しており、450-460kgで競馬をした母とのバランスで馬格がありながらも重過ぎることのない馬体は、ビシビシと攻め馬をこなせそうです。

